

## 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成22年6月7日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2794000147		
法人名	社会福祉法人甲有会		
事業所名	グループホームロココ		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪府豊中市宝山町7番8の1号		
自己評価作成日	平成22年4月10日	評価結果市町村受理日	平成22年11月10日

## 【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	<a href="http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp/">http://www.osaka-kaigohoken-kohyou.jp/</a>
情報提供票を活用する場合	(別添情報提供票のとおり)

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社H.R.コーポレーション
所在地	兵庫県西宮市甲陽園本庄町6番8号ー102
訪問調査日	平成22年4月12日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

特別養護老人ホーム(部屋数90室)が併設されている。また平成23年3月には介護老人保健施設がとなりに完成予定。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

ホームは閑静な住宅街に位置し、近隣には公園や商店街・図書館等があり利便性にも恵まれた環境が整っている。ホーム内は木の温かみを活かした心安らぐ造りになっており、また、整理整頓や清掃が行き届き、清潔感が保たれた空間となっている。同一敷地内に特別養護老人ホームやデイサービスが併設され、各種イベントなど行事面や利用者の健康管理において連携が取れており支援体制が整備されている。理念の中に、地域密着型サービスとしての役割である、地域交流を深めることを掲げ、自治会主催の夏祭りなど行事への参加や、今後は更に小学校や幼稚園との交流も計画している。また、家族の協力を得ながら、日々の散歩や年間行事の中の外出にも積極的に取り組む事で、地域との関わりを深めていくと共に利用者の心身の活性化や個々の力量が発揮できるような働きかけも行われている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>社是・経営理念・基本方針を1枚にまとめ、必ず目にする玄関、職員トイレに掲示している。</p>	<p>利用者の尊厳を守り、地域交流を深めながら笑顔で過ごせる空間作りを目指す、を理念に盛り込み、地域密着型サービスとしての果たすべき役割が反映されている。理念は玄関や事務所内に分かりやすく掲示すると共に、日常のケアに反映していくために、申し送り時や会議にて話し合い周知を図っている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>夏祭り等の地域行事に参加したり、見学の受け入れを随時行っている。</p>	<p>地域自治会の夏祭り等の手伝いや行事に参加する事で、地域住民との関わりが深まっている。法人施設内での餅つき等の行事に近隣の人の参加があり、地域ボランティアの協力も得ている。暮らしの中で近隣の公園や商店街に行く機会を作り、気軽な挨拶・声掛け等日常的なつきあいも大切にしている。今年は小学校や幼稚園との交流を計画している。</p>	
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>運営推進会議を利用し、認知症予防や介護の知識等について話している。</p>		

4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み                  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>年に3回実施し、ご家族や相談員の意見に耳を傾けている。</p>	<p>会議は利用者・家族・自治会代表・民生委員・市職員・地域包括支援センター職員・知見者の参加にて定期的に行われている。介護相談員も参加する機会があり、積極的に意見・提案を出してもらっている。ホームの活動報告・利用者の現状・行事案内等報告し、参加者間での情報提供や意見交換を行い、サービスの質向上に活かせるよう取り組んでいる。会議録は閲覧できるようにホーム内に掲示している。</p>	<p>今後も定期的に会議を開催し、多方面からの意見や提案を、ホームのサービスの更なる向上につなげていくことを期待する。</p>
5	4	<p>○市町村との連携                  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>豊中市役所や中央地域包括支援センターに運営推進会議の参加を求めている。</p>	<p>運営推進会議での関わりがあると共に、地域連絡会地域福祉ネットワーク会議に参加し行政との交流を継続している。市から派遣されている介護相談員が定期的に訪問し、利用者や家族と行政間との橋渡し役となり、ホームのサービス向上を目指し連携を図っている。</p>	

6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践                  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる</p>	<p>入職時の研修に「身体拘束」に関する課目を取り入れている。</p>	<p>身体拘束についての理解を深めるために、新人職員の入職時研修に位置付け研修を行っている。理念に高齢者の尊厳を守る事を掲げ、日常の声掛けや対応に配慮し、スピーチロックなど言葉による拘束についても職員間で注意し合うよう取り組んでいる。施錠については、利用者の状態変化に応じ安全確保のために玄関は施錠する時があるが、利用者の思いや外出の傾向に配慮し、閉塞感を感じさせないように取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束のないケアへの取り組みについて職員間で話し合いを継続し、安全に配慮しながらも施錠についての改善策がないか検討していく事を期待する。</p>
7		<p>○虐待防止の徹底                  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>入職時の研修に「高齢者虐待」に関する課目を取り入れている。</p>	/	/
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用                  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>資料を閲覧できるようそろえている。</p>	/	/
9		<p>○契約に関する説明と納得                  契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者やご家族と入居契約の場を設け、契約書・重要事項説明書の内容を直接伝えている。</p>	/	/

10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置し、苦情があれば報告書を掲示している。</p>	<p>家族面会時・運営推進会議・意見箱の設置等で家族からの意見・要望を聴く機会を設けている。年間行事予定表の作成について家族からの要望があったが迅速に対応している。苦情があった場合は申し送りノートに記録し職員間で周知・検討している。状況に応じ苦情報告書を作成し掲示するなどの取り組みがある。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>ユニットごとに連絡ノートを置き、利用者に関する申し送りとともに意見を記入してもらっている。</p>	<p>連絡ノートに利用者の気づきを書くと共に、職員の個々の意見や提案も記入し、会議や申し送りなどで話し合い、運営面に活かしていくよう取り組んでいる。職員のユニット間の交代等は極力少なくなるよう配慮し、利用者との馴染みの関係の維持に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>契約更新時や賞与考査時に評価シートを記入している。</p>	/	/
13		<p>○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1回ユニットごとにスタッフミーティングを開催している。</p>	/	/
14		<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>協議会の定例会議に参加したり、入居希望者や空き室情報の連絡をとったりしている。</p>	/	/

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に訪問面接を行ったり、本人やご家族に見学に来ていただいたりしている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に訪問面接を行ったり、本人やご家族に見学に来ていただいたりしている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご家族や他施設の担当者から話を聞いたり、入居直後は1時間ごとの記録をつけたりしている。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ADL動作だけでなく、炊事や掃除等の生活動作も手伝っていただき、自立支援を目指している。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会や外出を気軽に行っていただいている。月1度のイベントにも参加を呼び掛けている。</p>		

20	8	○馴染みの人や場と関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	ご家族以外の方の面会も受け入れている。	家族の面会の機会が多く、利用者の友人の来訪時等も家族と相談し支援している。個々の利用者の要望については家族の協力も得ながら個別に対応し、地域社会とのつながりが継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やお茶の時間。洗濯物をたたむとかCDに合わせ歌をうたうとか、同じことをする時間をもうけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後の相談にのり、希望されれば併設特養の入所も申込を受け付けている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所前面接で聞き取りをしたり、入所直後には細やかに行動を観察し、記録している。	管理者や計画作成担当者が入居時にヒヤリングし、本人の思いや希望・身体状況・生活歴などを把握している。入居後も利用者との会話や行動・表情などで思いや意向を確認し、記録に残し共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	ご家族や他に利用されている施設の担当職員から話を聞いている。		

25		<p>○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>ご家族や他に利用されている施設の担当職員から話を聞いている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>入居前面接で本人、家族の意向をうかがう。以後は現状に合わせたプランを作成し、家族に提示している。</p>	<p>利用者・家族からの情報を参考にアセスメントし、本人の意向が反映された介護計画を作成している。作成後は面会時や郵送等で家族に説明・同意をもらっている。計画は定期的にモニタリングを行い、状態変化があればその都度計画を修正し、安定している場合も3～6カ月ごとに定期的な見直しが行われている。</p>	<p>利用者の変化に予防的に対応していく為に、毎月の計画の振り返りを行うと共に、モニタリング実施時の様式の整備や記入法についても検討していくことを期待する。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアチェック表や介護記録をつけている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>併設施設の機器やキャラバンを活用することで、運動したり大勢で外出したりが可能である。</p>		
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>介護相談員が毎月来られて利用者の様子をご覧になり、意見を聞かせて頂いている。</p>		

30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>同じ建物内にある診療所から毎週往診を受けている。</p>	<p>同じ建物内に診療所があり、年に1回の健康診断や二週間に1回の往診があり、利用者の体調に応じ24時間対応にて相談出来る体制が整っている。また、併設施設の看護師との連携も取れ適宜支援を受けている。利用者・家族が馴染みのかかりつけ医等を希望すれば、家族の協力も得ながら受診支援を行っている。</p>	
31		<p>○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>併設された特養施設の看護師から、異常時には支援を受ける体制を整えている。</p>	/	/
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時に先方の病院へ情報を提供している。入院中は見舞いに行き、様子を聞いてくる。</p>	/	/
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前面接で大まかな意向をうかがっている。併設された特養への転所を勧めることがある。</p>	<p>入居の契約時に利用者・家族に重度化等に向けてのホームとしての方針を説明し、利用者の状態変化に応じて、併設施設への転所の支援も行っている。職員は研修を受講し、利用者の状態悪化や急変時に適切に対応できるよう取り組んでいる。</p>	

34		<p>○急変や事故発生時の備え                  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>入職時に研修を行っている。マニュアルを閲覧できるようにしている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策                  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>併設された特養と合同で、消防訓練を実施している。</p>	<p>併設施設と合同で、年に2回、夜間も想定した消防訓練を実施し、職員は災害時の対応や避難方法を習得している。また、災害時マニュアルを整備し、迅速な対応ができるように努めている。災害時に備え食品等を備蓄している。</p>	<p>災害時に備えた地域や関係機関との連携体制を整えるために、運営推進会議等を通じて地域との協力体制について話し合う事を期待する。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保                  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者は人生の先輩であるという尊敬の眼差しをつねに持ちながら親しみを感じていただく努力をしている。</p>	<p>理念の中に、利用者の尊厳を守ることを掲げており、個々の利用者に合った言葉かけや対応を心がけ、プライバシーを損ねないよう配慮している。入職時に職員と誓約書を交わし、個人情報保護の徹底に努め、職員研修の実施により再確認している。介護記録等は施錠できる棚に保管し取り扱いに注意している。</p>	
----	----	--	--	---	--

37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>お茶やおやつの時間には希望をうかがったり、外出や入浴等は本人の意向を確かめる。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>集団生活という制約の中で、可能なかぎり本人のペースを最優先している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>ご家族の協力を得て、本人の望みに対応している。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>テーブルを拭いたり食器を並べたり、準備の段階から食事を楽しんでいただいている。</p>	<p>法人厨房にて調理された食事を提供しており、行事食などには利用者の希望等に配慮したメニューを取り入れ、おやつはホームで作るような工夫もある。また、月に数回は外食やお弁当で気分転換を図り、食の楽しみを工夫している。本人の能力や関心に応じて、テーブル拭きやおしぼりたたみ等食事の準備や片づけを手伝ってもらっている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士による献立を提供している。水分量も一日1,500mlを確保できるよう記録している。</p>		

42		<p>○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>起床時と就寝時には職員が、口腔ケアをしていただくようチェックしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>夜間も含め、排泄パターンを記録から読み取り、適切なタイミングでトイレの声かけをしている。</p>	<p>状況に応じて排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンに応じた声掛けや対応等工夫し、可能な限り自立に向けた支援を行っている。状況に応じて個々に合った介助や見守りにて羞恥心等プライバシーに配慮した支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分摂取の確保と、ヨーグルトや食物繊維のおやつ等を提供している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>浴槽のまたぎが困難な利用者にはシャワー浴を楽しんでいただいている。</p>	<p>入浴回数の基本の設定はあるが、出来る限り希望に応じた入浴回数や時間に柔軟に対応できるように配慮している。入浴拒否のある人へは、家族の協力や声掛けのタイミング等の工夫で対処している。脱衣室等での注意が必要な物品については、利用者の現状を見ながら保管方法や管理の工夫がなされている。</p>	

46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる</p>	<p>入居前から使用されて いる寝具を持ち込んで いただいている。</p>		
47		<p>○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や要領について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている</p>	<p>利用者毎のケアチェッ ク表に服薬されている 薬の内容一覧を綴じて いる。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>入居前面接で本人や家 族から聞いたり、日々 の会話で知るようにし ている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるよう支援している</p>	<p>天気が良ければ毎日散 歩に出ている。月に一 度は、外出のイベント を計画している。</p>	<p>ホームは外出支援に力 を注いでおり、日々の 暮らしの中での気軽な 外出を心がけ、近隣の 公園や商店街に行く機 会を設けている。天候 不順等で外出できない 場合は、法人敷地内 での移動や屋上で過 す事も下肢筋力の維持 ととらえ支援している。 個別の外出希望には家 族の協力も得ながら対 応し、身体状況に応じ て福祉用具の活用にて 支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひとり の希望や力に応じて、お金を所持し たり使えるように支援している</p>	<p>ご家族から3,000円をお 小遣いとして預かって いる。散歩時の店先で 購入されることもある。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話 をしたり、手紙のやり取りができる ように支援している</p>	<p>自ら行うのが困難な方 には月に一度、ご家族 への近況報告を職員が 代わりに書いている。</p>		

52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日の掃除を行っている。季節ごとの花を切り紙で作り、リビングの壁に貼っている。</p>	<p>ホーム内は整理整頓や清掃が行き届き、清潔感が保たれている。共有空間は飾り付けが幼稚であったり華美すぎないように考慮しながら、手作りの行事予定表や季節毎の装飾品を飾り、落ち着いてゆったりと過ごせる環境作りがなされている。併設施設の屋上庭園を活用する事も可能で、利用者は外気浴を楽しむ等思い思いに過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングには人数分のチェアをテーブルの周りに並べ、壁にはソファを置いている。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>クローゼットとエアコン以外には本人のなじみのある家具を持ち込んでいただいている。</p>	<p>ゆったりした広さが確保され、洗面台・クローゼットは備え付けられている。仏壇や自分の活躍していた時代の賞状・家族の写真・テレビ・収納棚等、昔懐かしい物品や、生活のしやすさに配慮された使い慣れた家具等が持ち込まれ、個々の思いに沿った居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや浴室には手すりを設置している。</p>	/	/

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない